

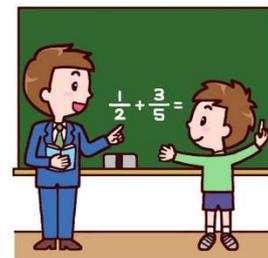
【感謝】



- ・いつもありがとうございます。よろしくおねがいします。
- ・いつもありがとうございますこれからも宜しく願い致します。
- ・いつもお世話になっております。わたくしは先生方と関わる機会はあるまいのですが息子が嫌がらず一生懸命学校に登校できますのも先生方のおかげですので感謝しております。今後ともよろしく願い申し上げます。
- ・コロナ禍の中でも楽しんで学校に行けている様です。学校にも工夫して頂いて学習にも取り組みやすい様です。
- ・ご迷惑をおかけしていることも多い中、息子を見守っていただき相談にのってくださったり、心強いお言葉をいただけてありがたく思っております。いつもご指導に感謝です。家庭でもしっかり向き合い過ごしていければと思います。
- ・一年生として忘れ物や落ち着かないことがあります学校が大好きで毎日楽しく通ってます。時期に合わせた色々な面白い行動を興味津々で参加してくれますし学校行きたくないと言われなくて嬉しいです。
- ・高学年の子供達が進んで挨拶や低学年の子供達が困っているときに、助けてくれることに感動致しました。学校の指導がとても良いと感じています。
- ・子どものことをよく観察して頂いていると思います。引き続きよろしくおねがいします。
- ・先生はとても丁寧にしっかりと生徒に向き合って下さるので、安心です。
- ・娘は担任の先生が大好きで、毎日楽しく過ごせております。毎日のきめ細かいご指導に感謝です。校長先生はじめ他の先生がたもいつもありがとうございます。

【教育課程】

- ・1、2年生の頃に比べて学力低下を感じる。授業内容もいまいちわかりにくいと口にするようになりました。
- ・算数がわかりづらい。



→我々は全体指導をしつつ、一人ひとりの学習のようすを見て、個別の支援を行っているところです。引き続き、児童観察に努め、困っている児童を支援していきます。

また、教員一人ひとりの授業力の向上にも継続して努めてまいります。

学習する内容は、学年が上がるにつれて複雑になったり、抽象的になったりして、全体的に難しくなります。家庭で繰り返し復習することも大切になってきます。今後とも連携して児童を育てていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

- ・コロナで出席停止となってしまうことが多く、授業についていけなくなるのが心配です。配布されたタブレットを利用して、授業を配信するなどしていただきたいです。
- ・欠席した時にオンライン授業が出来るように早くしてほしい。



→新型コロナ関係で、児童本人は体調に問題がなくても長期間自宅待機となることがあります。これについては、早急に授業配信（双方向ではない授業中継）ができるよう進めてまいります。

また、学級閉鎖時には、オンライン授業（双方向による授業）ができるよう進めます。

・コロナ禍でできることに限りがあるとはいえ、もう少し指導方法があるのではと考えます。

→コロナ禍で、この2年あまりの間、教育活動に制限が生じており、保護者の方々にとっては、いろいろとご不安になることがあるかと思えます。学校では、市中の感染状況を踏まえ感染症予防対策をとった上で、教育活動を工夫しながら進めているところです。皆様からも「こんなことも、こうすれば感染症予防と両立できるはず」という具体的なお知恵等ございましたら、お手数ですが学校までお知らせください。よろしくお願いいたします。



・運動会等の行事の後にアンケートを実施し、翌年以降に反映して頂けると有り難いです。子どもが徒競走で最後のレースだったのですが、最初から最後まで動く人がおらず、見えづらかったです。譲り合える人が少ないようでしたら、一学年ごとの体育参観のような形の方が有り難いです。

→学校側でも、最前列は発表している学年の保護者が優先となる旨を事前に文書等で保護者にお伝えすることに加え、当日も、競技の入れ替えごとにアナウンスをするなどしていきます。保護者の方々も、限られた参観スペースですので、見やすい場所は競技ごとに譲り合って参観するよう引き続きご理解ご協力をお願いいたします。



子どもたちが気持ちよく競技に臨めるように、我々大人がしっかりとマナーを守っていければと思います。

【安全・安心】

- ・いつも子供達のことを考えて、取り組んでいただき感謝しております。コロナ禍でありながら、子供達へのご指導も感謝しております。しかし、今の状況はコロナ感染よりも、子供達の精神的負担が今後心配になることもございます。マスク生活、黙食、人との触れ合いが少ないなどこの状態が続きますと今後子供達への影響が心配になります。世の中では大人達が顔合わせながら会食もしていますし、いつまでも元気な人がマスクをつける行為はどうなのかと感じます。子供達に必要な免疫もつかず、かえって体も弱くなっていくという意見もございます。様々な意見があるなかで学校も大変だと思いますが、大人が行動しなければ、子供達はまだ判断できません。精神的にも健やかでないと、いずれは勉強にも支障が出てくると思います。上から言われてるからマニュアルに沿っての行動ばかりではなく、少しずつでも子供達の様子を見ながら現場の方から変化を起こしてもいいのではないかと感じています。
- ・海外と同様に子ども達のマスクの自由化のご検討宜しくお願い致します。先生達も暑い中大変だと思います。いつも授業ありがとうございます。このまま夏でも自由化にならないければ外すきっかけを失う事にも繋がると思います。色んな方の意見もありますので大変だとは思いますがご検討どうぞ宜しくお願い申し上げます。

→ コロナ下における教育活動については、厚生労働省や県のガイドラインに基づき定めた市川市の

「新たな学校生活ガイドライン」に沿って進めています。また、新型コロナウイルスの感染予防等については、立場の違いにより多様な意見があるのもご存じのとおりです。したがって、現状では、学校独自の判断でマスクが不要であるという判断はできません。

しかし、マスク生活が長く続いていることにより、熱中症の恐れがある場面など、マスクを外すべき場面でもマスクを外せない児童が多数いることも事実であり、看過できない問題だととらえています。マスクを外すべき場面とつける必要のある場面を適切に判断し、行動できるよう声掛けを続け、子どもたちが健やかに成長するよう努めてまいります。

- ・給食着についてです。クラスで使い回すのではなく、個人で持つことは出来ないのでしょうか？コロナ禍でもこれだけは誰も何も触れていなかったことにずっと疑問でした。

→新型コロナウイルスという見えない敵に対して、さまざまな点を心配されるのは無理のないことと思います。

学校では給食着について、次のように考えています。

「洗濯の際、洗剤の界面活性剤によりウイルスの感染力はなくなります。ですから、仮に新型コロナウイルス陽性となった児童が着用した白衣であっても、洗濯すれば問題はないと考えます。また、その場合しばらくの間は、各学級の予備の給食着で対応もしています。洗濯後に表面に付着することはあり得ますが、白衣に触った手で目を直接触ったり、手づかみした食品を食べたりしなければ感染は防げます。手を洗えばさらにリスクを下げるすることができます。」

しかし、感染症対策はこれで万全というものはないのだと思います。つきましては、ご不明な点や要望等がございましたら、学校までぜひご連絡をお願いします。

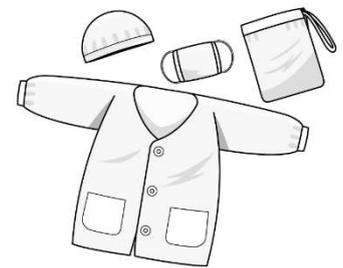
- ・学校はもっといじめ解決に積極的に取り組むべきです。学校内、生徒の本質をどこまで見抜けてますか？

→いじめは、個人の人権を侵すけっして許してはならない行為だと考えます。学校では、いじめの早期発見に努めるとともに、「いじめは絶対に許さない」という強い決意をもって対応します。

学校では、児童一人一人の困り感をつかみ個別の支援につなげるために、日々の観察に加え、教育相談月間を年に2回設定し、児童と個別に面談をする機会としています。

また、ゆとろぎ相談員という職員が週に2～3回程度勤務し、希望者との面談（本人、保護者）や各学級に入り、個別の支援のための手立てをとっています。さらに、臨床心理士としてスクールカウンセラーが昨年9月から月に一回勤務し、希望者との面談（本人、保護者）をしています。

しかし、いじめというのは第三者にはわからないところで起こることがほとんどで、場合によっては、LINEなどのSNS上で起こることも多く、教職員にはつかみづらいのが実情です。スマートフォンなどによるWEB上のやりとりについては、保護者がスマホの使用実態等を把握し、使用法についてお子さんと約束をすることなど主体的に関わっていただくことが不可欠です。学校と保護者とで連携して



いじめの解消に努めたいと思います。

つきましては、ご家庭で、いじめと疑われる状況を把握した際には、学校までご連絡をお願いします。全教職員で解消に努めます。

なお、学校では、児童生徒の内面も理解したいと思いつつ、児童生徒と関わり指導にあたっていますが、他者である児童生徒の本質は仮に親であっても理解困難なものだと考えます。ですから、行動や表情など外から観察可能なことで心配だなど感じた児童には、教職員から声をかけます。児童が内面を言葉として発出できるよう努めます。しかし、低学年児童や外国籍児童等で、自分の気持ちを伝えるための「ことば」が未定着であることも多くあります。また、思春期のために自分の内面を知られたくないということもあります。そのような困難のある中でも、「いじめは絶対に許さない」という強い気持ちをもって根気強く指導にあたっていきます。保護者の方の協力も不可欠です。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

- ・最近一部の同学年の子の言葉遣いの荒さや不適切な発言を悲しく思いました。SNS などの影響も大きいと思いますが、学校での指導も引き続きお願い致します。
- ・子ども同士の会話の中の言葉のチョイスが人の気持ちを考えていないようなひどい時があり、時々友達にキツイ事を言われたと落ち込んで帰ってくる事がある。こう言ったら相手がどう思うか、自分が言われたらどうかを考えられるように家庭も学校も指導するべきだと思う。

→子どもは一つの語彙でいろいろな感情を表す風潮があります。学校では、道徳の授業を中心として内面の変化を目指しています。また、複雑な感情を表す「ことば」をたくさん身につけることで、今現在の自分の気持ちの表し方を知ること大事と考えます。そこで、毎週設定している朝の「ことばっ子タイム」の時間を中心に、語彙を増やすことに力を入れています。



- ・通学路が狭く危険な所が複数あります。特に本光寺前の交差点、五中入り口の押しボタン式信号の所は他校の生徒も大勢いる上、バスも含め大きな車が通っています。市に交渉してガードレールをつける、保護者の立ち番(他校は交代で旗を持っているところもあります)を検討する等対策が必要ではないでしょうか

→昨年の千葉県内で起きた通学路における交通事故のことを思うと、登下校における児童の安全については、心配が付きません。ご指摘の箇所については、市川市の教育委員会・警察には連絡済みです。ガードレールの設置も要望してます。すぐに設置となるかは予算と他の対策との兼ね合いですが、継続して働きかけていきます。



また、登校時の見守りについては、昨年度より本校ではPTA活動のボランティアを進めており、毎日必ずその場所で見守りをするということは難しい状況です。教職員による下校指導に加え、交通安全教室の開催や通常の授業の中で児童への安全教育を徹底していきます。

- ・熱中症対策でのスポーツドリンク持参 OK にしてほしいです。登下校のマスクも外させてほしいです。

→学校だよりも記載させていただきましたが、熱中症の恐れが高いとき（熱中症警戒アラートが発令されたときや厚さ指数が高いとき等、あらためて学校から連絡はしません。）は、水筒の中身にスポーツドリンクを持ってきてかまいません。また、登下校時や激しい運動をしているとき（体育の授業や外遊び等）は、マスクを外すよう伝えています。

・14:40 や 15:30 の下校時間は気温が高すぎるため、十分に気温が下がるのは 18:00 という現状が夏休みまで続きます。16:45 までなど、子供を学校に待機させて欲しいです。習い事のある子もいるのは分かっています。

→台風や地震などの自然災害が発生し、安全に下校することが著しく困難と判断したときには、一斉メールで連絡したうえで、学校に子どもたちを止めおきます。しかし、気温が高いとき等に学校に一律に待機させることは、ご承知のとおり難しいと考えます。

・欠席連絡がメール対応していただけるようになり、とてもありがたく思います。この酷暑でのマスク着用に関しても、外すように対応していただきありがとうございます。年に一度ですが、新学年初日の大量の全教科書の持ち帰り翌日に持って行かなければならない、のは通例のようですが低学年には厳しいかと思えます。難しいかと思えますが、数日に分けて持っていくなど希望します。

→近年は教科書のサイズが大きくなったり、ページ数が増えたりしており、ランドセルの重さが社会問題の一つとなっていることは理解しております。来年度以降どのような対応が可能か引き続き検討してまいります。



・運動会がお昼までとコンパクトでよかった。全校で開催できたのは良かったが、子供の応援席に日陰がなくて座って待つ子供達が暑そう。気温も高く、熱中症も心配なので、テントを張るなどどうにか応援席の対策ができないかと思った。

→グラウンドの大きさを考えると、全校児童が入れるだけのテントを張ることは難しいと考えています。



また、仮に張れたとしても、その場合は保護者の参観する場所がほとんどありません。ついては、運動会全体にかかる時間のより一層の削減と、休憩時間の設定、適切な水分補給等により対応していきたいと考えています。

【情報】

・PTA 本部から見た先生方、学校としての努力は非常に理解していますが、コロナ影響により直接的なコミュニケーションの場がない為か、余り周りに浸透していないと感じる事があり、そこが残念に思う所です。これも徐々に直接言葉と熱意で伝える事で改善されていく事を願っています。

・タブレット授業が始まっていないようで、不安を感じる。学校での子供の様子が分かりづらい。

→これまで通り学校だより、学校ホームページで学校・児童の様子を伝えていくことに加え、感染症対策をしたうえで、なるべく実際に対面できる形のコミュニケーションの場や学校の教育活動についての方針や考え方等を伝える場をつくっていくよう努めます。

→低学年におけるタブレットの活用は9月にご家庭での teams の接続テストを行います。これにより、

学級閉鎖や自宅待機等で教室で授業ができないときにオンライン授業や授業配信に備えます。また、授業では少しずつ活用する場面をつくっていきます。

- ・子供がよくお便り紛失するので、学年だより等メール配信してほしい

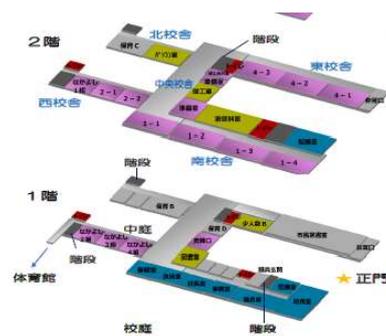
→現状は、デジタルデータだと見ることが困難だという意見や、月予定などは印刷したものがあるとよいのだが家庭にはプリンターがなく印刷ができないので紙媒体のままがいいという意見もあります。デジタルも紙もとなると、業務量を増やすことになってしまいます。お便りの配付については、今後も引き続き検討する課題とさせていただきます。



また、それとは別に、お子さんの成長のためには、お便りをしっかりしまったり、もらったその日のうちに保護者の方に渡したりという習慣づけは大切だと考えます。デジタルデータでは渡せないものもあります。

- ・先日の授業参観の際、教室がどこにあるのかまったく分からず、辿り着いた時には参観時間を過ぎてしまっていた。あんな所、初見で分かるわけがない。学校側の配慮のなさに愕然としたのと同時に、子供たちの学校生活においても配慮がなされているのか不安になった。

→新型コロナウイルス感染予防のため参観時間を区切ったため、時間にシビアな状況となりご迷惑をおかけいたしました。新しい建物には、できあいの「校舎配置図」が設置してあることがありますが、本校は建物が古く、つぎ足しつぎ足しで増設している関係で、手作りの「校舎配置図」しかなく、たいへんわかりづらかったかと思えます。このような問題意識の元、その後立体的なカラーの「校舎配置図」を作成し、児童の昇降口に掲示するとともに、大柏小HPにも掲載しました。校舎内の移動の際、スマートフォンで検索して表示していただければ、ご案内のお役に立てるのではないかと考えています。学校の教育環境をよりよくするために、教職員はもちろんですが、保護者や地域の方の建設的な意見や支援が不可欠と考えています。互いの至らなさを指摘するのではなく、手を携えて歩んでいきたいと思っています。そうすることがお子さんの成長につながると考えます。ご理解ご協力をお願いします。



- ・夫婦共働きのため、予定の変更などはなるべく早めに連絡いただくと助かります。

→下校時刻の変更など、連絡が直前になるケースがあり、大変ご迷惑をおかけしました。今後とも見通しをもって計画的に予定の調整・連絡を進めてまいります。

【その他】

- ・コロナの影響で学校行事が最低限の中、気を配りながら運動会等開催して頂きありがとうございます。ここに書くことではないかもしれませんが、給食についてのアンケート等があると嬉しいです。例えば、サンラータン。健康に良さそうではありますが、子どもにはかなり不評でした。我が家だけかもしれま

せんが。サンラータンはかなりハードルが高いと思ってしまいました。その他にも、これは美味しい、これはたくさん残ってしまっていたとか、子どもの感想も少しだけ反映して頂けると嬉しいです。全て子どもの言い分を取り込むのは栄養面でも偏ってしまうだろうし、ご面倒かもしれませんがよろしくをお願いします。

→給食についてもこのアンケートにご回答していただいて構いません。残菜の状況は毎日記録し、次回の献立作成に役立てています。ただし、栄養面のバランスや日本の伝統的食材であったり、季節の食材であったり、日本の年中行事に関わるメニューなど、たとえ不評でも「食育」として外すことができないと考える場合もあることはご承知おきください。



- ・給食のおかわり等の指導に各担任のやり方に偏りがあるように思う。せめて学年ごとや低学年、中学年、高学年などで統一したらどうだろうかと思う。席替えも子供にとっては一大イベントです。担任のやり方に従うしかないような席替えはクラス全体を嫌悪する要因に為りかねない。前の先生はこうだったのに、今度の先生はひどい等の愚痴を良く聞きます。
- ・担任の先生が厳しく、学校へ行きたくない、学校楽しくないと言われたことがあり少し困った。

→お子さんが納得できていないのですね。おかわりや席替えについて、学校では、「公平・公正」な方法で進めるようにしています。具体的な方法については、各クラスで異なることもあるかと思います。お子さんの話をよく聞いてくださりありがとうございます。もし、「公平・公正」でない方法をとっているようなら問題です。お手数ですがすぐに学校までご連絡ください。

そうではなく、「公正・公平」が保たれているようだけれども、お子さん自身は納得していないようであれば、お子さんの気持ちに共感しつつ、励ましのことばやアドバイスをしていただけたらと思います。いろいろなやり方を経験することは、人としての引き出しを増やし、だんだんとより大きな違いにも対応できる力を育みます。ひいては中一ギャップを乗り越える力にもなると考えます。

- ・欠席した時の授業内容や範囲を子供が分かるように手紙等で一時間目算数何ページ二時間目国語何ページなどその日の実施した内容を分かるようにして欲しいです。机に入れておいてもらえば登校してからその手紙等持って帰ってきて家でも教える事ができます。
- ・子どもに声かけをして頂きたいです。

→欠席して授業に参加できなかった場合、登校後の声掛けや授業中のフォローで対応しています。また、各教科のおおよその進度は毎月の学年便りに掲載している単元名を目安にしてください。けがや体調不良で授業中保健室などで休む児童や、遅刻早退する児童がいることもあります。欠席したときの授業内容を伝えることは可能な時もあると思いますが、欠席した全ての児童に毎回もれなく伝えることは困難です。お子さんにより、状況等異なると思います。要望があるときにその都度ご相談の連絡をしていただければ対応しますのでよろしくお願いします。

- ・宿題などなにになにをしたらいいかよく分からない。子供がなにをしていいのか理解してないから親も理解できてない。



→家庭学習や宿題については、だんだんと自分だけの力で進められるような力を身につけさせたいと考え、指導を継続しています。しかし、低学年など学習習慣が未定着なお子さんには、保護者の方の支援が必要な場面も多いと思います。そのような場合は、まずはお子さんから話をよく聞いてあげてください。お子さんが何をしたらいいかをよく理解していなくても、叱る必要はありません。お子さんがどこまで分かっている、どこから分からないのか等よく聞き取ってみてください。次に登校する際に、お子さんが担任に直接分からないことを質問できることが成長につながるのですが、もし、それは不安感が高くて、今は難しそうな場合、連絡帳でその内容をお伝えください。学年が上がるにつれて自分でできるように支援をしていきます。ご理解ご協力をお願いします。

- ・必要な時に子供を車で送迎できる環境を整えて下さい。

→骨折等のケガや急な発熱等で歩くことが困難なときは学校まで相談の連絡をしてください。個別に対応します。

- ・子供からでも大人からでも、いつでもどこでも安心して挨拶を交わせる習慣を街全体で出来ますようにと思います。
- ・学校の取組については、コロナ禍で接触に限界があるので致し方なしと考えます。